

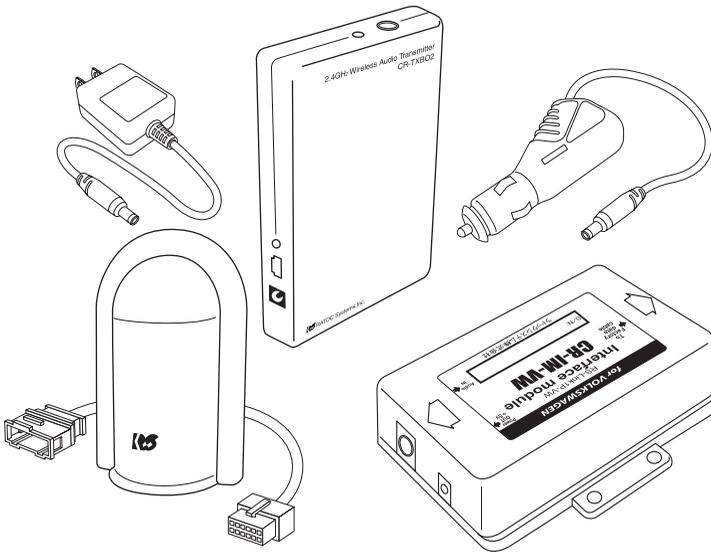
車載用 ワイヤレスデジタルオーディオキット

# REX-Link1P-VW

For VOLKSWAGEN

## 取扱説明書

Oct./2005 Revision 1.0



ラトックシステム株式会社

**RS** RATOC Systems, Inc.

## 安全にご使用いただくために

本製品は安全に充分配慮して設計を行っていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、危険/警告/注意事項を必ず守ってください。

### 表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示事項を守らないと、火災や感電などにより、人が死亡又は重傷を負う可能性があり、且つその切迫度合いが高い内容を示しています。



この表示事項を守らないと、火災や感電などにより、人が死亡又は重傷を負う可能性がある内容を示しています。



この表示事項を守らないと、感電やその他の事故により、人が重傷又は物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



禁止



分解禁止

これらの記号は、禁止の行為である事を告げるものです。この図の傍らに、具体的な禁止内容を記載しています。



強制



電圧が  
低く

これらの記号は、行為の強制又は指示する内容である事を告げるものです。この図の傍らに、具体的な指示内容を記載しています。

### 危険



禁止



火の中に投入しない、過熱しない。

本製品を火の中に投入、或いは加熱する事は絶対にしないでください。  
発火・破裂につながり、火災の原因になります。



禁止



送信機は車内に放置しない。高温の場所に保管しない。

送信機は、車内など60℃以上になるような場所に絶対に放置しないでください。  
また、使用する際も直射日光を避けてください。故障、火災、破裂の原因になります。  
長期保管する場合は、45℃以上になるような場所で保管しないでください。火災の原因になります。



分解禁止



製品は開けない。分解、改造をしない。

製品を分解、改造する事は絶対にしないでください。分解、改造による機器の故障は保証対象外になっています。また製品を分解して内部のリチウム電池の分解、改造、変形は絶対にしないでください。火災・破裂の原因になります。

製品の点検/修理の場合は、弊社サポートセンターもしくは販売店にご依頼ください。



禁止



本製品の充電に、付属品以外のACアダプタ・充電ケーブルは使用しない。

充電を行う際、本製品付属のACアダプタ又はシガーソケットアダプタ以外の物で充電を行わないでください。電源仕様が異なる物をご使用された場合、液漏れ・発熱・破裂・故障の原因になります。また、本製品付属のACアダプタ、シガーソケットアダプタを他の機器で使用しないでください。



禁止



水で洗ったり、水のある場所で使用/保管しない。

水につけたり、濡らしたりしないでください。また、風呂場など水が入りそうな場所での使用はしないでください。火災・感電・故障の原因になります。

万が一製品が、水/薬品/油等の液体によって濡れた場合、ショートや感電の恐れがありますので、そのまま使用せず、弊社サポートセンターもしくは販売店にご相談ください。

### 警告



禁止



落としたり、衝撃を与えない。

当製品は落としたり、強い衝撃を与えないでください。また無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることはしないでください。火災や故障の原因になります。



以下のような場所で使用・保管しない。

腐食性ガス雰囲気中 (CL<sub>2</sub>、H<sub>2</sub>S、NH<sub>3</sub>、SO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub> 他)、ごみやほごりの多い場所、  
静電気の影響の強い場所、等では使用、保管しないでください。火災や故障の原因になります。



発熱体の近くで使用しない、充電しない。

製品の発火・破壊、リチウム電池の液漏れ・破裂につながり、火災の原因になります。



万が一、異常が発生したら...

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生した時は、すぐに機器、或いは車の電源をOFFにして  
接続ケーブル類を全て外して、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。



高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほごりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の  
磁気を帯びたものの近くで保管しないでください。



充電を行わない時は、安全のため必ずACアダプタはコンセントから外してください。



ACアダプタのコード、及びその他の充電用電源コードは伸ばしてお使いください。束ねたままで使用したり、釘など  
で固定しないでください。



ACアダプタのコード、及びその他の充電用電源コードは、物を上に置いたり、敷物や家具の下に設置したり、布  
などで覆わないでください。熱がこもり、感電や火災の原因になります。



乗り物の運転をされている方は、絶対に本製品の操作を行わないでください。交通事故の原因となります。



耳をあまり刺激しない適度な音量でお使いください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を及ぼす場合があります。



湿気やほごりの多い場所、直射日光が当たる場所、加湿器・熱器具の近く等の場所では使用・放置しないでください。



充電口に金属物を落としたり、水などの液体をこぼした場合は、電源プラグを外し、異物を取り除いてください。



汚れたときは、電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭いてください。



プラグの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。ケーブルを直接引っ張ると断線や故障の原因となります。



同梱のポリ袋は幼児の手の届かない所に置いてください。また火のそばに置かないでください。



当製品は一般オフィスや家庭のOA機器ないしホビー用途の製品として設計されていますので、一般製品より高い  
信頼性が要求される使用用途や、医療機器のような極めて高い安全が要求される用途には使用しないでください。



本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な  
信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を  
使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。

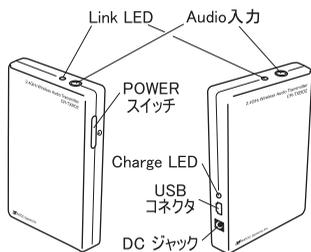
# 1 はじめに

この度はREX-Link1P-VWをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。本書はREX-Link1P-VWの導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。

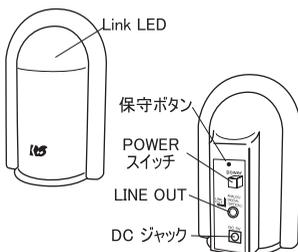
## 1-1. 内容物の確認と各部の名称

パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。

万が一不足等がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



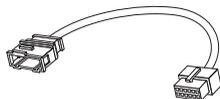
① 送信機【CR-TXB02】



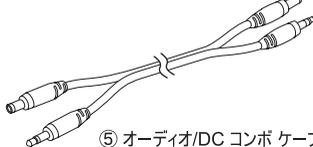
② 受信機【CR-RXB01】



③ インターフェースモジュール【CR-IM-VW】



④ インターフェースモジュール ケーブル【RCL-IMVW01】



⑤ オーディオ/DC コンポ ケーブル【RCL-SMDC】



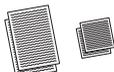
⑥ シガーソケットアダプタ (送信機充電用)【RSO-CSDC05】



⑦ オーディオ ショートケーブル【RCL-35SM】



⑧ ラバーシート (iPod Special Edition/第4世代iPod 厚み調整用)【RSO-LINK-RB1】



⑨ マジックテープ (大/小 2種類)



⑩ AC アダプタ (送信機充電用)【RSO-AC05-10】



⑪ iPod mini用クランプ【RSO-LINK-CL1】



⑫ iPod40G用クランプ (第3/4世代、iPod フォト、40G/60G用)【RSO-LINK-CL2】



⑬ iPod15/20G用クランプ (第3/4世代、15/20G用)【RSO-LINK-CL3】



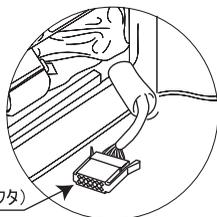
⑭ 取扱説明書(本書)

## 2 対応車種

1998~2005年 国内販売された全フォルクスワーゲン車(※1)の内  
CDチェンジャーに接続するケーブルのコネクタが左記形状の物。

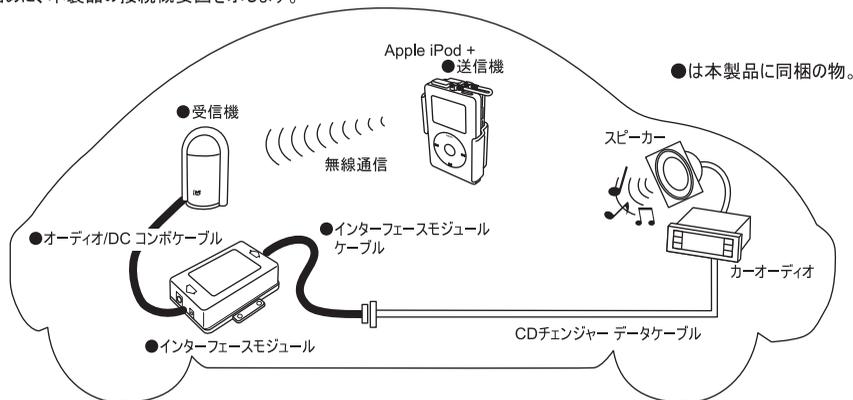
※1: 但し、CDチェンジャーを取り付け可能な車種に限ります。

CDチェンジャー  
データケーブル(コネクタ)



## 3 接続方法

始めに、本製品の接続概要図を示します。



本システムは、iPodの音楽を送信機により(無線)送信を行い、受信機で受信。インターフェースモジュールを介してカーオーディオのCDチェンジャーポートより音楽が入力されます。もし、既にCDチェンジャーを取り付けられている場合、本製品取り付け後はCDチェンジャーをご使用いただく事が出来ません。

取り付けは、お持ちのお車の状態により手順が異なります。

STEP 1: 送信機と受信機のリンク確認

STEP 2: インターフェースモジュールのカーオーディオへの接続

Case 1: CDチェンジャーデータケーブルが既設されている車

Case 2: CDチェンジャーを取り付けている車

Case 3: CDチェンジャー データケーブルが既設されていない車

STEP 3: インターフェースモジュールと受信機の接続

STEP 4: 送信機とiPodの接続

STEP 5: 動作の確認

### 警告

- 取り付け作業は必ず車のキーを抜いて、サイドブレーキをかけて行ってください。
- 取り付けはケーブルを引っ張らず、コネクタ部を持って取り外し/接続を行ってください。
- 取り付け時にダッシュボードカバーなどを外す場合があります。作業に自信の無い方は、お車の購入店又はお近くのカーキット販売店等に取り付けを依頼してください。弊社では、取り付け時による車の破損・故障等の一切の保障は致しかねます。

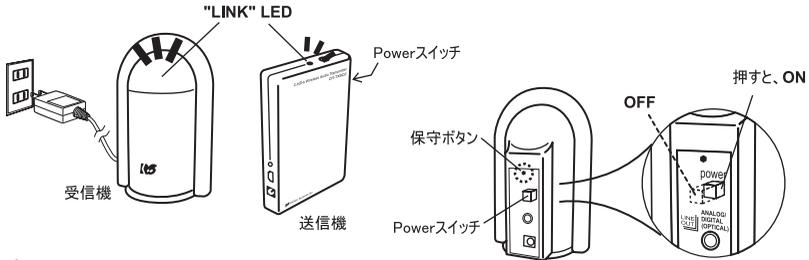
### 3 - STEP 1 : 送信機と受信機のリンク確認

- 1) まず始めに、本キットの受信機と送信機が正常にリンク(相互通信)するかどうかを予め屋内で確認します。  
送信機の電源をONにして、送信機の“Link”LEDが赤く点灯するか確認してください。この時、赤く点灯しなければ充電残量がありません。付属のACアダプタを使用して、まず充電を行ってください。
- 2) 送信機の“Link”LEDが赤色に点灯すれば、付属のACアダプタを一旦受信機に接続して電源をONにしてください。  
受信機の頭の部分が赤色で点灯した後、数秒後、緑色点灯に変わります。同時に、送信機も緑色点灯に変わります。この両方のLEDが緑色になれば、リンクが正常に行われている事を意味します。



重要

送信機/受信機の“Link”LEDが、30秒経っても緑色点灯に変わらない(赤色のままの場合、受信機裏の“保守ボタン”を押してください。再リンク設定を行います。



通常、付属のACアダプタは送信機の充電に使用します。ここでの確認が終わればACアダプタを受信機に接続する事はありません。

### 3 - STEP 2 : インターフェースモジュールのカーオーディオへの接続

#### ※ STEP2の作業を行う前に ※

このSTEP2の作業を行う前は、車のキーが抜かれている事を確認後、必ずバッテリーの⊖端子を外してから行ってください。



警告



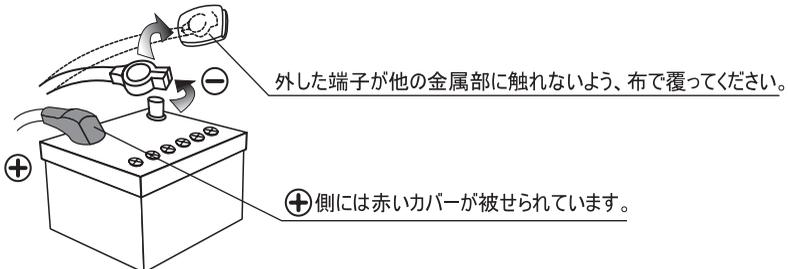
強制

配線作業中は必ず、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。  
ショート事故による感電やケガの原因となります。また取り外しを行う際は、必ず軍手をして作業を行ってください。



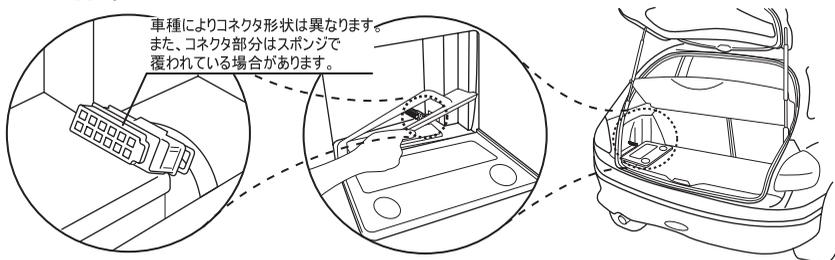
禁止

このSTEP2の作業が完了するまでは、⊖端子を絶対に接続しないでください。

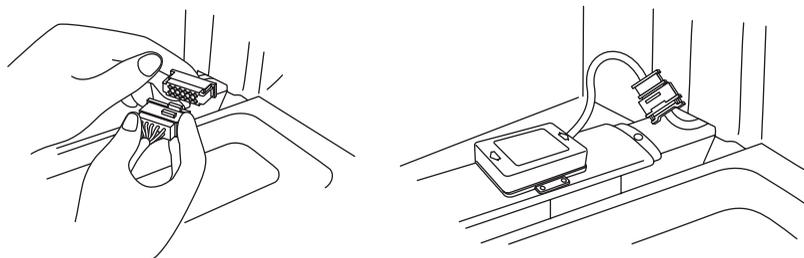


### CASE 1: CDチェンジャー データケーブルが既設されている車

- 1). CDチェンジャーが設置される場所を探し、カーオーディオからのCDチェンジャーデータケーブルの接続場所を探してください。

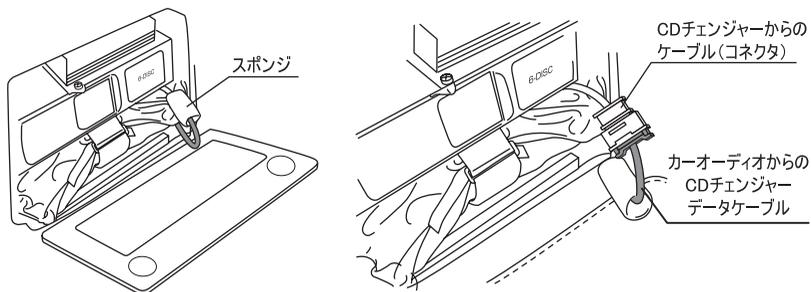


- 2). 同梱の“インターフェースモジュール ケーブル”をCDチェンジャーデータケーブルに接続した後、インターフェースモジュールに接続してください。

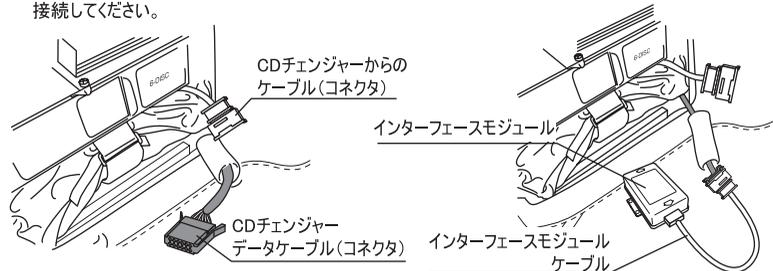


### CASE 2: CDチェンジャーを取り付けている車

- 1). CDチェンジャー、及びカーオーディオからのCDチェンジャーデータケーブルを探してください。



- 2). カーオーディオからのCDチェンジャーデータケーブルから、CDチェンジャーのケーブル(コネクタ)を外し、同梱のインターフェースモジュール ケーブルを使用してインターフェースモジュールとCDチェンジャーデータケーブルを接続してください。





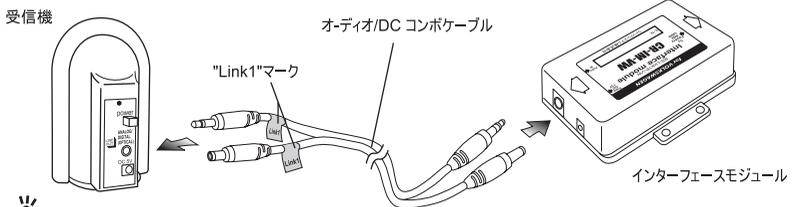
- コネクタは、車種/カーオーディオの種類によって形状が異なります。
- CDチェンジャー(CDチェンジャーデータケーブル)は、ラゲッジルーム内(左又は右のトリアムカバー内に収納する車種もあります。)、助手席下、もしくはセンターコンソール下にあります。
- このCDチェンジャーデータケーブルのコネクタ部分は、スポンジカバーで覆われている場合があります。
- ダミーコネクタが取り付けられている場合があります。

### CASE 3 : CDチェンジャー データケーブルが既設されていない車

まず、お近くのフォルクスワーゲンディーラーにCDチェンジャーデータケーブルの取り付けを依頼してください。取り付け後、**CASE1**を参照して本製品の接続を行ってください。  
もしくはカーオーディオヘッドユニットの取り外し/取り付け作業が可能な方は、ヘッドユニット裏面より直接接続するケーブルも準備しておりますので、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

## 3 - STEP 3 : インターフェースモジュールと受信機の接続

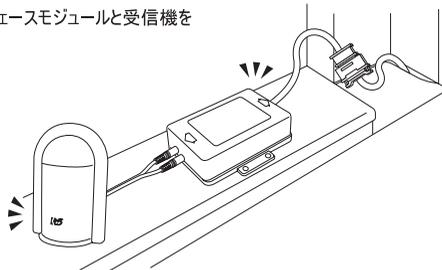
- 1). 同梱のオーディオ/DC コンケーブルを使用して、インターフェースモジュールと受信機を接続します。オーディオ/DC コンケーブルには方向性があります。"Link1"のマークがある側を受信機に接続してください。



### 重要

この時、受信機のPOWERスイッチは必ずONにしておいてください。エンジンのON/OFFで受信機も自動的にON/OFFになります。

- 2). 同梱のマジックテープを使用して、インターフェースモジュールと受信機を車に固定してください。



### 警告



禁止 強制

- 受信機を直射日光の当たる場所(ダッシュボードの上など)に設置しないでください。機器が故障する恐れがあります。トリアムカバー内などの場所に設置してください。
- 本製品を固定しない場合、走行中の振動等で本製品又は車の一部が破損、故障する場合があります。適切な箇所に本製品を固定させてください。

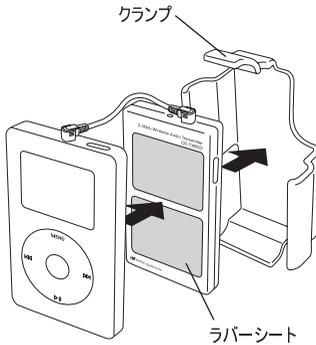
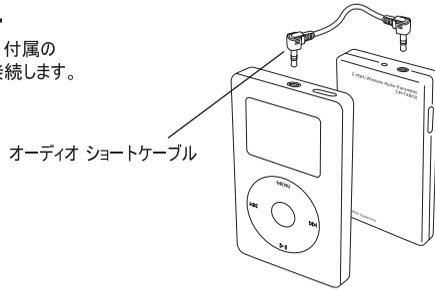
- 3). 注意してバッテリーの⊖端子を、元のターミナルに接続してください。



"STEP5"の作業が完了するまでは、受信機を設置した場所のカバー(トリアムカバー等)を閉じないでください。

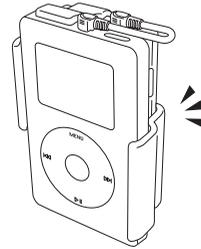
### 3 - STEP 4 : 送信機とiPodの接続

- 1). まずiPodのヘッドフォンジャックと送信機を、付属の“オーディオ ショートケーブル”を使用して接続します。



- 2). 次にiPodと送信機を付属のクランプで固定します。クランプは3種類あり、お持ちのiPodに合うクランプを使用して送信機と固定させてください。  
※第4世代iPod及びiPod Special Editionは付属のラバーシートを使用して、iPodとクランプの隙間を埋めてください。

- 3). iPodをクランプの上から「パチン！」とはめ込めば、作業は完了です。



### 3 - STEP 5 : 動作の確認

- 1). 車のアクセサリパワーをON(カーオーディオ本体に電源が入る)状態にして、カーオーディオの再生モードを“CDチェンジャー”に選択してください。カーオーディオのパネルには“CD1 Track1”と表示されます。



もし“CD1 Track 1”と表示されなければ、インターフェースモジュールが正しく接続されていません。全ての接続を確認してください。

- 2). 受信機の“Link” LEDが赤色で点灯しているか確認してください。点灯していない場合、PowerスイッチがONになっているか確認してください。
- 3). カーオーディオの音量を低めに設定し、送信機の電源をONにしてください。この時、送信機/受信機両方の“Link” LEDが緑色に点灯する事を確認してください。



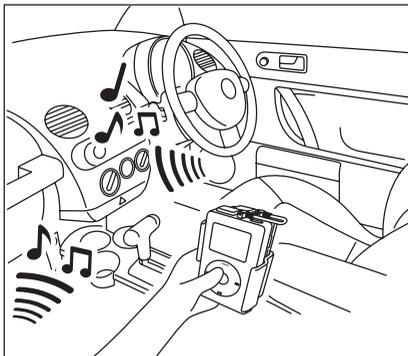
#### 重要

送信機/受信機ともに赤色点灯の場合、電波が届いていない可能性があります。  
電波の性質上、金属物質で密封されるような場所に設置された場合は通信状態が極端に悪くなりますので(プラスチック等、金属以外のものでは問題は起こりません。)、このような場合、受信機の設置場所を変えてみてください。

- 4). iPodの音量を低めにして音楽を再生して下さい。スピーカーから音楽が聞えれば作業は完了です。適切な音量になるよう、iPodとカーオーディオのボリュームを調整してください。

 注意

動作確認時、エンジンをかけない状態で車の電源を長時間ONにしたままにすると、車のバッテリーが上がります。動作確認が終われば速やかに車の電源をOFFにしてください。

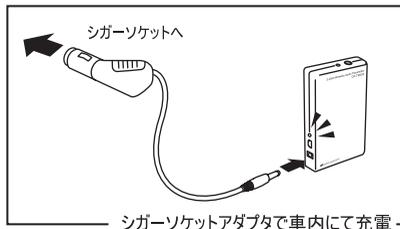
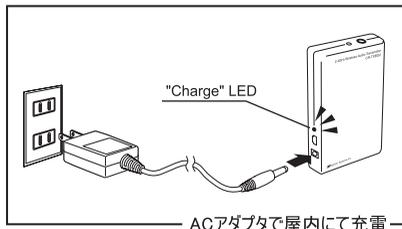


## 4 送信機 (CR-TXB02) について

送信機 (CR-TXB02) をご使用の際は、本章をよくお読みになり、各機能・注意事項をご理解の上、正しくお使いください。

### 充電について

送信機は充電式になっています。充電残量がなくなった場合、下記いずれかの方法で充電を行ってください。



充電電池は使用せず長時間放置した場合、自己放電します。必ず充電してからお使いください。



### 警告



禁止

本製品に付属のACアダプタ/シガーソケットアダプタ以外では絶対に充電しないでください。液漏れ、発熱、故障、破裂の原因になります。

### 充電電池仕様

電池種類	: リチウムイオンポリマー
充電容量	: 1050mAh
充電時間	: 約3時間 (過充電防止機能付)
連続使用時間	: 約11時間 (フル充電時)

本製品のリチウムイオンポリマー充電電池は約500回程度の繰り返し充電が可能ですが、使用環境や充電頻度により寿命は異なります。(充電は、受信機の“Charge”LEDが赤色に点灯してから行う方が、電池寿命は長くなります。) 充電してもすぐに本製品が使えなくなる場合(“Link”LEDがまったく点灯しない場合)は、電池交換のサインです。弊社サポートセンターへ電池交換をご依頼ください。



### 警告: 充電電池を交換の際



強制

本製品の送信機にはリチウムイオンポリマー電池が内蔵されています。電池寿命などによる電池交換を有償にて弊社で行っておりますので、送信機のみ弊社へご送付ください。

お客様ご自身で交換したことにより生じた不具合については保証対象外となりますのでご注意ください。



Li-ion

充電電池のリサイクルにご協力ください。

本製品の送信機にはリチウムイオンポリマー電池が内蔵されており、ご使用済みのリチウムイオンポリマー電池は貴重な資源となります。本製品を廃棄する場合は、ご家庭の普通ゴミ等で廃棄せず、本体ごと弊社サポートセンターへご送付ください。リサイクルにご理解、ご協力をお願い致します。

### 充電監視機能について

送信機には充電残量監視機能が付いています。充電残量が低下すると、“Charge”LEDが赤色に点灯します。点灯後およそ一時間はご使用頂けますが、このLEDが点灯すれば充電を行うようにしてください。

### オートパワーオフ機能について

送信機への音楽入力が一定時間(約5分)以上無い場合は、自動的に電源がオフになり電池の消耗を抑える仕組みになっています。従ってiPodの音楽再生を5分以上一時停止した場合は、送信機の電源がOFFになります。再度再生させる場合は、改めて送信機の電源をONにしてください。

## 5 お問い合わせ・ユーザ登録

### 5-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。  
なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますので予めご了承ください。  
また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等を行う関係上、回答までに時間を要する場合もございます。予めご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター  
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル  
TEL 大阪：06-6633-6766  
東京：03-5207-6420  
FAX：06-6633-3553（FAXは24時間受付）  
営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00  
土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。  
またホームページ上からご質問・お問い合わせも可能です。  
<http://www.ratocsystems.com/>

### 5-2. ユーザ登録

ユーザ登録は、下記URLより行うことができます。

<https://regist.ratocsystems.com/>

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。  
弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。  
<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

## 6 製品仕様

ユニット	送信機	受信機
型番	CR-TXB02	CR-RXB01
名称	REX-Linkシリーズ iPod用 Wireless Audio送信機	REX-Linkシリーズ Wireless USB Audio受信機
入出力端子	【ヘッドフォン入力】 3.5mmステレオミニジャック（ライン出力からの音声入力には適しません。） * 入力インピーダンス: 16Ω * AD変換: 44.1kHz、16bit、2ch 【USB入力】 USBミニB端子 (USB1.1、Full Speed)	【アナログ/デジタル出力】 3.5mm 光ステレオミニジャック *アナログ出力: ラインアウト(2ch) *デジタル出力: S/PDIF (44.1kHz、16bit、2ch)
スイッチ/ボタン	Powerスイッチ	Powerスイッチ、保守用ボタン
表示	* Link LED (緑色: 通信中 赤色: 待機中) * Charge LED (緑色: 充電中 赤色: 充電残量警告)	* Link LED (緑色: 通信中 赤色: 待機中)
電源	リチウムイオンポリマー充電電池 内蔵	DC5V (付属のシガーソケットアダプタより供給)
外形寸法	50.0(W) × 91.4(L) × 14.0(H) mm	57.0(W) × 45.8(L) × 86.2(H) mm
重量	約 62.5g	約 53g
消費電流	約 90mA / +5V	約 135mA / +5V
送信周波数	ISMバンド 2.402~2.480GHz	
変調方式	適応型周波数ホッピング	
通信可能距離	最大10m (見通し)	
アンテナ	内蔵パターンアンテナ	
オーディオコーデック	SBCコーデック (384~512kbps)	

ユニット	インターフェースモジュール	AC アダプタ (受信機充電用)	シガーソケットアダプタ (受信機充電用)
型番	CR-IM-VW	RSO-AC05-10	RSO-CSDC05
入出力端子	【オーディオ入力】 ラインイン(3.5mm ステレオミニジャック) 【電源出力】 DC5V (受信機電源用) 【カーオーディオ入出力端子】 10pin コネクタ	【入力】 AC100~240V 50/60Hz 【出力】 DC5V、1.0A	【入力】 DC10~13.5V 【出力】 DC5V、500mA~1.1A
電源	カーオーディオより給電	—	—
外形寸法	100(W) × 82(L) × 32(H)mm	32.0(W) × 21.0(L) × 42.0(H)mm	27.0(W) × 102.0(L) × 44.0(H)mm
重量	92.5 g	63 g	64 g
消費電流	5 mA / +12V	—	—

REX-Link1P-VWの送信機/受信機はTELECの認証を取得しています。



CR-TXB02 (送信機) : 001NYCA1239  
CR-RXB01 (受信機) : 001NYCA1157

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、認証取得しています。従って、組み込まれた無線設備を他の機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触する恐れがありますので、十分にご注意ください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用を中止した上で、弊社サポートセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りの事が起きた時は、弊社サポートセンターへご連絡ください。

- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更する事があります。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万が一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
- 運用の結果につきましては責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品改良のため、将来予告なく外觀または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートは行っておりません。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- iPod、iPod miniは米国アップルコンピュータ社の米国及びその他の国における登録商標です。VW、VOLKSWAGENはドイツフォルクスワーゲン社のドイツ及びその他の国における登録商標です。その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標又は登録商標です。なお本書では、TM、(R)マークは明記しておりません。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



© RATOC Systems, Inc. All rights reserved.  
Printed in Japan